

書の道

No.487

令和3年 3月号

- ・ 孟法師碑
- ・ 哀冊
- ・ 枯樹賦

桑原翠邦先生（書のあゆみ二四五頁掲載）
孟法師碑の臨書

御氣 列六



昭陵禮也鳳紀疑秋龍帷將曙
化同輶綿區縞素哀子嗣
皇帝覽風樹而增感攀銅池
而拊膺迫

昭陵禮也鳳紀疑秋
龍帷將曙化同輶

大琳
臨

現在残っています。

貞観二三年に太宗が崩御。六四九年五月、①太宗(五十二歳は「イ」)の皇帝は李治(口)高宗の後見人に長孫無忌と

この「哀冊」は行書体

褚遂良(ハ)遺休は昭陵に埋葬。蘭亭序を埋葬品とする「こと」の遺言を残して死去しました。

若き二十二歳の皇帝「高宗」の誕生です。埋葬品の蘭亭序の件以外、

遺言通りに実施されたことは立証されています。

同年八月十八日、太宗の遺休が昭陵に埋葬された朝、中書令褚遂良が太宗皇帝の哀冊文を読んだ時の原稿(②から⑤)が



①唐太宗立像

ないという大きな意味を感じ取ることができま

す。②(Ⅱ)「大行」の文字は太宗と名指しせず、太宗を意味する別の表現です。

③(Ⅰ)は「太」と「宗」の字を重ね書きしたものと「行」の字を重ね書きしたものと「帝」と「于」の間には「崩」と「行」の字があります。④(Ⅱ)は「太」と「行」に「宗」の字を重ね書きしたものと「太」と「行」に「宗」の字を重ね書きしたものと「帝」と「于」の間には「崩」と「行」の字があります。⑤(Ⅰ)は「太」と「宗」の字があります。⑥(Ⅱ)は「太」と「行」に「宗」の字があります。

④(Ⅰ)は「太」と「宗」の字があります。⑤(Ⅰ)は「太」と「宗」の字があります。⑥(Ⅱ)は「太」と「行」に「宗」の字があります。

公式の行事にも行書を採用

書いて「帝」と「于」の間には丸で囲んだ「崩」の字があります。④(Ⅱ)は「太宗」と書いています。

⑤(Ⅰ)は「太」と「宗」の字があります。⑥(Ⅱ)は「太」と「行」に「宗」の字があります。

本来の姿を一番濃くとどめているのは②だと思

います。「哀冊」の臨書に書いたものだけに、よく見比べてください。

太宗が書いた晋祠銘や褚遂良が書いた哀冊。行書は気楽に簡単

拓本の文字の比較

	(Ⅰ)	(Ⅱ)
②	太宗皇帝崩于	大行神武
③	太宗皇帝崩于	太宗神武
④	太宗皇帝崩于	太宗神武
⑤	太宗皇帝崩于	

太宗皇帝 于翠微宫之台風殿

②「文皇哀冊」褚遂良書

の行事にも正式に採用しています。欠画のように

皇帝の名前を直接使わない家臣の礼儀の一端も記憶にとどめておく、今後役に立つと思いま

枯樹賦

殷仲文風流儒雅每內知名代

異時移出為東陽太守常忽

不樂顧其槐而歎曰此樹婆娑安生

皆聿逝矣至如白鹿瀨松青牛文

梓根枉股血魄山雪涯表裏柱何事

戲鴻堂本（比田井天來先生旧藏）

① 枯樹賦(こじゆのふ) 六三〇年

殷仲文風流儒雅海内知名代異
時移出為東陽太守常忽不樂

なら心を楽しくさせてく
な今週の鑑賞

唐の貞觀四(六三〇)年
に書かれた①「枯樹賦」
についてお話しします。
内容は庾信(五三三年-
五八一年「南北朝」)と
さんが文頭の殷仲文(四
四〇七年「東晋」)さん
の「庭にある枯れた樹木
を見て嘆き悲しんだ」こ
とを、自分自身の栄枯盛
衰の姿と重ね合わせ人生
の無常として語ったもの
です。
人は悩み始めると普段
もあることなのですね。しかし、その動きがすべ

人生の無常さ表す「枯樹賦」

人生のはかなきを感じ
を描いた筆は空間に舞い
上がり、再び天から下っ
とは現代も同じこと。国
を作り上げていきます。
や時間を超えてどこにで
る作りにあふれています。
しかし、その動きがすべ

②「貞觀四年十月八日、燕国公の為に書す。」とあつて
揮毫者の名前は書かれてありません。

貞觀四年十月八日、燕国公の為に書す。

の人々は文献等を照らし
合わせて三十五歳の褚遂
良が書いたとしてきまし
た。
今週の揮毫

に似た表現も再現でき、
濃墨で書くことや細く、
美しいかすが出て、少
し優雅さも加わり明るい
表現も再現できます。い
ずれも枯樹賦の表現であ
り、その時の気分で使い
分けるとよいでしょう。

法帖は③の直線的なも
のと、④の筆が紙の上に
滞在する時間がやや多く
感じられ少し曲線的なも
のの二つに分けられま
す。もちろん臨書では③
の法帖をお勧めします。
使用する墨は淡墨でも
濃墨でも結構です。淡墨
で書くと「わび、さび」

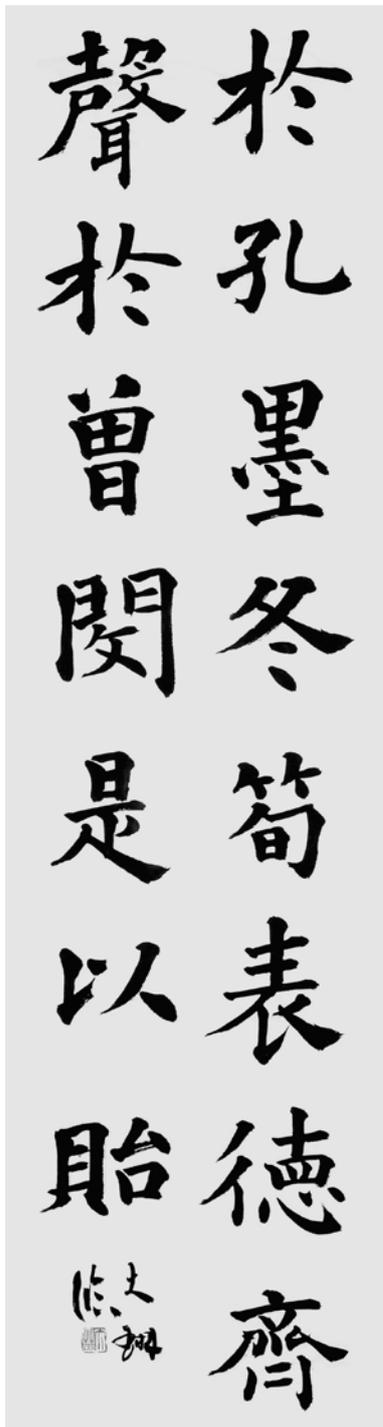
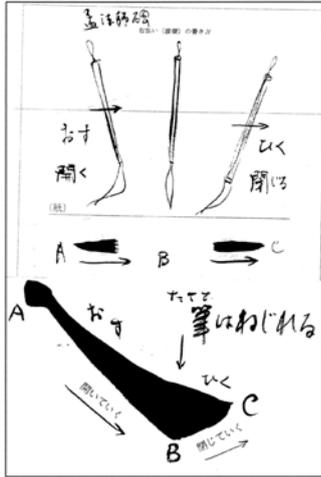
へ悲しきめぐりあわせ
枯樹賦を書いたと言わ
れている三十五歳の若き
褚遂良が、この年より六
年後の六三六年に亡き虞
世南の後を受け継ぎ四十
一歳で太宗皇帝に仕えま
す。枯樹賦はこれからの
褚遂良のあゆみそのもの
であり、愛州(現在のベ
トナム)の地に左遷され
六十四歳で死亡する褚遂
良との悲しきめぐりあわ
せとも言えます。
こんなことから何だか
自然に枯樹賦と褚遂良と
を結び付けていったのか
もしれませんね。

③ 臨書の際に手本として望ましい拓本

碎錦片、真花紅、秋草樹、散亂烟霞
若夫松子古塵、平仲岩、遷森、梢、一、百

④ 臨書の際に手本として望ましくない拓本

碎錦片、真花紅、秋草樹、散亂烟霞
若夫松子古塵、平仲岩、遷森、梢、一、百



大琳臨



初唐の三大家の虞世南が六三八年に八十一歳で、歐陽詢は六四一年に八十五歳で亡くなりました。虞世南や歐陽詢の強い影響を受けながらも、二人とは異なる美の表現を求め研さんしていた四十七歳の褚遂良は、周囲からさまざまな期待と熱い信頼を受け、翌年の六四二年に「孟法師碑」(部分①)を書きました。

それぞれから同じ文字が下がっているのも特徴です。③「徳之道」を選び出した。②③④の三つの文字の縦の長さ、横の長さをすべて計りまし、縦に長い文字、真四角な文の長さをよく見ながら、

横長で安定感ある「孟法師碑」

短い波磔や点節(角)の表現に注意して「徳之道」の文字を⑥のように臨書しました。



見守られ九十七歳の長寿を全うしました。

磔と、横に長く安定感に満ちた造形美に注目してください。巧みな線を生むさまざまな筆づかいもよく統一されています。

字▽傷ついて判断つかない不明な文字―の四つに分類したのが⑤の表です。孟法師碑の文字数が773文字。横に長い文字は約55%の425文字ありました。もちろん縦体的に幅広く安定感に満



①孟法師碑

④ 孟法師碑 (褚遂良)	③ 九成宮醴泉銘 (歐陽詢)	② 孔子廟堂碑 (虞世南)

孟法師さんは隋・唐を通じて優遇されたのです。老子の思想を漢民族の多くが支持していましたが、唐王朝の道教崇拝は北方民族である唐王朝と漢民族との融和政策の一つであったかもしれませぬ。孟法師さんは唐王朝に

⑤	孟法師碑	九成宮醴泉銘	孔子廟堂碑
総文字数	773文字	1109文字	2043文字
縦に長い文字数	289(37%)	674(61%)	819(40%)
横に長い文字数	425(55%)	419(38%)	958(47%)
正方形	59(8%)	0	209(10%)
不明	0	16(1%)	57(3%)

上海

花

渡

大琳の書



上海の
花の
咲き
渡る

ななりの詩

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2021

3 March